

野洲駅南口周辺整備構想

<ゾーンイメージ>

ゾーンイメージにおける区画



◎駅前の特性

- ・市内で最も利便性が高くにぎわいが求められている
- ・高度利用を図る地域
例) 14階建て分譲マンション、6階建て共同住宅
- ・景観計画による重点地区指定

ゾーンイメージ①

【第1工期（5～10年後）】

- （仮称）野洲市立病院整備基本構想検討委員会から出された提言、「病院の立地場所はA候補地が望ましい」を踏まえ、病院を配置
- B区画に病院への接続を確保した立体駐車場を配置
- C区画に商業を配置し人の往来を期待
- E区画にJAおうみ富士が移転

【第2工期（10年～20年後）】

- B区画の市民広場と接した交流施設を配置
- D区画を将来の文化スポーツ施設用地として確保
- E区画の小学校側へこどもの家に移転し跡地を市民広場として拡張

◎グループワークのポイント例

- A区画への病院配置（利用者への利便性、動線、景観等）や病院にプラスして立地を期待する機能
 - B区画に配置する交流施設と市民広場の連続性
 - B区画に配置する立体駐車場のあり方
- 等

ゾーンイメージ②

【第1工期（5～10年後）】

- ・ 駅ロータリーからつながる市民広場を配置し空間を確保
- ・ B区画に3路線と接する病院を配置
- ・ A区画に病院への接続を確保した立体駐車場を配置
- ・ C区画に商業を配置し人の往来を期待
- ・ E区画にJAおうみ富士が移転

【第2工期（10年～20年後）】

- ・ A区画に市民広場からつながる交流施設を配置
- ・ D区画を将来の文化スポーツ施設用地として確保
- ・ E区画の小学校側へこどもの家に移転し跡地を市民広場として拡張

◎グループワークのポイント例

- ・ A区画が望ましいとされた病院をB区画に配置する理由と配慮すべき項目への対応策
(既存公共交通機関との連携・接続、施設と駐車場の接続、市域全体から見たアクセス)
- ・ A区画に配置する立体駐車場のあり方
- ・ B区画の病院と市民広場の連続性

等

